

トーアメック株式会社

エコアクション21

環境活動レポート

第73期

(2023年 4月～2024年 3月)

発行： 2024年7月1日

[1] 事業活動の概要

事業者名	トーアメック株式会社
代表者	代表取締役社長 高橋 佑一郎
所在地	東京都港区芝 4-2-3
事業の規模	資本金 5,720 万円
	従業員数 100 名（令和 6 年 3 月 31 日現在）
	設立 昭和 26 年 9 月
	事業年度 4 月 1 日～3 月 31 日

全事業所

- | | |
|------------|--------------------|
| ・ 本 社 | 東京都港区芝 4-2-3 |
| ・ 鈴鹿営業所 | 三重県鈴鹿市国府町石丸 7651-9 |
| ・ 浜松営業所 | 静岡県浜松市中央区西丘町 199 |
| ・ 北陸支店 | 富山県富山市布瀬町南 2-3-3 |
| ・ 金沢営業所 | 石川県野々市市御経塚 1-520 |
| ・ 神奈川支店 | 神奈川県海老名市中央 3-2-20 |
| ・ 沼津サテライト | 静岡県沼津市若葉町 12-16 |
| ・ 福岡サテライト | 福岡県福岡市中央区舞鶴 1-3-14 |
| ・ 宇都宮営業所 | 栃木県宇都宮市御幸ヶ原 151-14 |
| ・ 埼玉サテライト | 埼玉県狭山市大字下奥富 472 |
| ・ 新座物流センター | 埼玉県新座市畑中 1-8-30 |
| ・ 川越物流センター | 埼玉県川越市南大塚 2-2-11 |

事業内容	機械部材、電機部材、電子部材等生産財、試験機、農業用機器の販売
	環境管理責任者 管理部人事総務経理課 小寺 布美子
連絡先	TEL : 03-6834-2600

関連会社

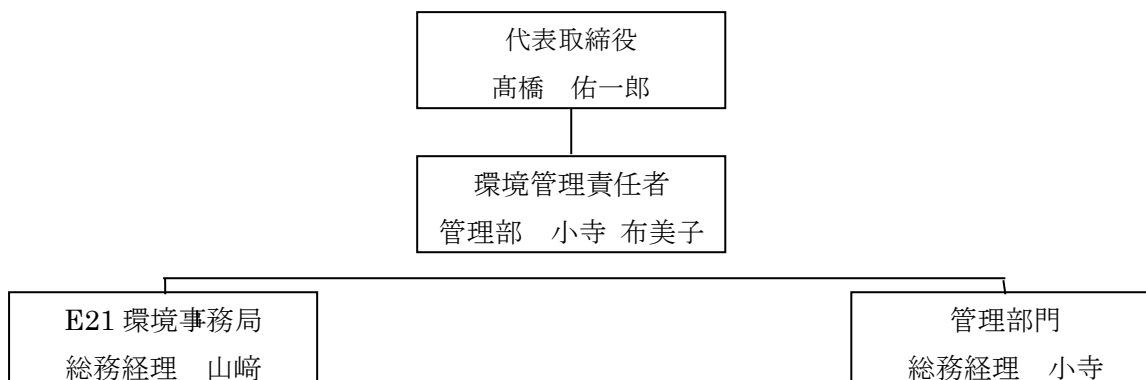
トーアエクスプレス株式会社

代表者	代表取締役社長 熊谷 昭一	
所在地	埼玉県狭山市大字下奥富 472	
事業の規模	資本金	1,000 万円
	従業員数	29 名（令和 6 年 1 月 31 日現在）
	設立	昭和 48 年 11 月
	事業年度	2 月 1 日～1 月 31 日
全事業所	本社	埼玉県狭山市大字下奥富 472
	川越	トーアメック（株）川越物流センター内
	新座	トーアメック（株）新座物流センター内
	浜松	トーアメック（株）浜松営業所内
	鈴鹿	トーアメック（株）鈴鹿営業所内
事業内容	トーアメック株式会社の取扱商品の納入および商品管理業務	

[2] 対象範囲

トーアメック株式会社 及び トーアエクスプレス株式会社 全事業所

[3] 環境経営システム組織図



鈴鹿営業所 川村（達）	浜松営業所 水谷	宇都宮営業所 高原	埼玉サテライト 高原	北陸支店 松	新座倉庫 安住	経理 千賀	業務 外山
金沢営業所 青木	神奈川支店 中尾	沼津サテライト 金井	福岡サテライト 松井	川越倉庫 熊谷			

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標、環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標、環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成と実績集計 ・環境関連法規等取りまとめの表の作成と遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーション ・環境活動レポートの作成、公開
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・問題点の発券、是正、予防処置 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

[4]

環 境 経 営 方 針

[基本理念]

トーアメック株式会社は、工業用生産財、農業用機器、試験機等の販売活動、及び納入代行業務を通じて、地球環境を守るために、環境に配慮した製品の提供に努め、自主的かつ積極的に環境保全活動に取り組みます。

[基本方針]

1. 環境保全に関連する法令・規則を遵守し、環境保全レベルの向上に努めます。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に取り組みます。
 - ① 省エネルギーの推進
 - ② 資源の有効利用
 - ③ 廃棄物削減とリサイクル
 - ④ 環境にやさしい製品の販売と情報の提供
3. 環境経営方針を全社員に周知するとともに社外にも公表します。

2008 年 5 月 1 日 制定

2023 年 4 月 1 日 改訂

トーアメック株式会社
代表取締役社長
高橋 佑一郎

[5] 環境目標(全社3ヶ年：2022年4月/72期～2024年3月/74期)

コロナ禍により直近の71期ではなく68期と69期の平均値を新目標基準とし、各1.5%の削減を計画します。

項 目			新目標基準年度	2022 年 72 期	2023 年 73 期	2024 年 74 期
			68 期-69 期 平均値	R4.4～R5.3	R5.4～R6.3	R6.4～R7.3
燃料（ガソリン等）		年間使用量（L）	59,519	58,626	57,746	56,880
電力（k W h）		年間使用量	279,873	275,675	271,540	267,467
CO ₂ 排出量	燃料	年間排出量	103,430	101,879	100,350	98,845
	電力*	年間排出量	137,879	135,810	133,774	131,767
	合計	年間排出量	241,309	237,689	234,124	230,612
水		年間使用量（m ³ ）	739	727	716	705
廃棄物	一般	年間排出量（kg）	4,316	4,251	4,186	4,124
	産廃	年間排出量（kg）	27,678	27,262	26,853	26,450
コピー用紙		年間購入量（千枚）	459	452	445	438
グリーン購入品		事務消耗品	購入割合増加へ	継続活動		
環境配慮型		省エネ照明 協働ロボット他	倉庫、工場へ販売			
業務改善		社内の業務改善活動				

[6] 環境活動計画及び取組

① 燃料使用量の削減について

- ・商品配送および営業活動に伴う燃料使用量の削減（継続）
- ・使用する車輛を低燃費車／エコカーの導入などで使用燃料を低減。
- ・倉庫からの配達・発送方法の検討を随時行う。荷姿により使用車両を選定し効率化推進。
- ・定期的な車両整備の実施。

② 電力使用量の削減について

- ・設定温度の管理と冷えすぎ、暖めすぎへの注意喚起・室内温度計の設置での管理およびこまめな巡回による設定機器の管理（設定温度：冷房 26℃ 暖房 25℃）
- ・退社時の消灯、冷暖房 OFF の確認
- ・クールビズを 5 月～10 月まで実施から「通年ノーネクタイ」へ移行

③ 水 節水の呼びかけ（継続）

④ 廃棄物の削減（継続）

- ・一般ごみ : 分別回収／リサイクルの推進
- ・産業廃棄物 : 廃棄物の適正処理（マニフェストの管理）
廃プラと木くずの確認
- ・SDGs への取り組み

⑤ コピー用紙の削減（継続）

- ・両面、縮小コピーの活用
- ・裏紙の使用
- ・営業会議資料の配布中止の継続
- ・複合機に印刷枚数管理システム付機種に切替え

⑥ 事務消耗品 グリーン購入品の購入割合増加を行う（68 期実績全体の 47.6%）

⑦ 環境配慮型商品の販売と情報提供

- ・LED照明、工場・倉庫・公園等の照明（水銀灯の代替）
- ・省エネ型農業機器の販売
- ・各仕入先メーカーの情報提供

[7] 環境活動取組結果の評価

73 期（2023.4～2024.3 の活動結果）及び次年度へ取組内容

項目		単位	基準年目標値	73 期目標値 (基準年度▲1.5%)	73 期 実績	目標達成 評価
燃料（ガソリン等）		年間使用量（L）	59,519	57,746	51,121	○
電 力		年間使用量(k W h)	279,873	271,540	262,687	○
CO ₂ 排出量	燃料	年間排出量	103,430	100,350	118,272	×
	電力	年間排出量	137,879	133,774	119,221	○
	合計	年間排出量	241,309	234,124	249,411	×
水		年間使用量（m ³ ）	739	716	617	○
廃棄物	一般	年間排出量（kg）	4,316	4,186	4,742	×
	産廃	年間排出量（kg）	27,678	26,853	12,900	○
コピー用紙		年間購入量（千枚）	459	446	297	○
グリーン購入品		事務消耗品	購入品目増加へ	購入比率 48%		
環境配慮型商品		省エネ照明 協働ロボット他	倉庫、工場へ販売	LED 照明の販売：1,413 セット		▼22%
				作業改善ソフトウェアの販売 ：57 セット		▼8%
				サポートジャケットの販売 ：0 セット		-%
業務改善		男性育児休業の取得促進 実績：1 名				

上記の実績から、二酸化炭素の年間排出量は 249,411Kg-CO₂でした。

注意：＊三か年計画のため、本年度もグリーン購入及び環境配慮型商品の拡販についての数値目標は設定せず、その購入活動(割合増加)及び販売活動のままとした。前年度比は記載。

購入電力の電気事業者別排出係数と 73 期実績の排出量（2023.4～2024.3）

電気事業者	年間使用量(k W h)	排出係数	Kg-CO ₂
東京電力	196,154	0.457	89,642
中部電力	49,3864	0.444	21,591
北陸電力	15,038	0.487	7,323
九州電力	1,631	0.407	663
計	262,687		119,221

[8]新エコ商品販売の結果

単位：個

サーボ モータ	70.71 期	72 期			73 期		
シリーズ	平均	目標	実績	評価	目標	実績	結果
A5	20,476	20,500	25,149	○	20,000	10,941	×
A6	3,505	3,557	6,451	○	4,624	8,306	○
A7	0	0			0	0	
計	23,981	24,057	31,600	○	24,624	19,247	×

単位：千円

サーボ モータ	70.71 期	72 期			73 期		
シリーズ	平均	目標	実績	結果	目標	実績	結果
A5	457,240	457,300	554,945	○	455,000	315,274	×
A6	78,882	80,065	137,423	○	104,100	188,932	○
A7	0	0			0		
計	536,122	537,365	692,368	○	559,100	504,206	×

単位：台

	71 期	72 期			73 期		
	実績	予定	実績	結果	予定	実績	結果
エコ トイレ	0	1	1	○	2	0	×

[9] 環境活動結果の評価と次年度の取組と計画

① 燃料（ガソリン等）の削減

・エコドライブのすすめの周知活動：

＊74 期取組：エコドライブの実施継続及びカーシェアの使用継続

② 電力の使用量の削減（各事務所・各部屋）

・引き続きエアコンのこまめな温度調整と電気消し忘れの注意喚起を実施（本社）

・5 月から 10 月までのクールビズより通期でのノーネクタイへ変更

・昼休みの消灯

＊74 期取組：照明の間引きを検討

③ 水の削減

- ・節水の呼びかけの継続

＊74 期の使用量は現状維持

④ 廃棄物の削減

- ・62 期より継続で廃棄物のリサイクルを促進。
- ・紙コップの廃止
- ・木枠パレットを定規へリサイクル

＊74 期取組：SDGs 取り組みである木枠パレットの再利用を引き続き検討

⑤ コピー用紙の削減

- ・両面、縮小コピーの活用・裏紙の使用 継続実行中
- ・営業会議資料の印刷配布を中止－継続

＊74 期取組：継続

⑥ グリーン購入に関しては前期より増加。50%へ近づけられるよう取り組む。

＊74 期取組：継続

グリーン購入について再度周知を図る

⑦ 環境配慮型商品の販売継続

- ・省エネ照明の拡販
- ・省エネ型農業機器の拡販
- ・作業改善ソフトウェアの販売

＊74 期取組：継続して拡販

⑧ 業務改善＝エコへのイメージの定着を図る

＊74 期取組：継続、その他改善点の検討

[10] 環境関連法への違反、訴訟等の有無

- ・適用される主な環境関連法規について、遵守状況は特に問題はありませんでした。
- ・過去 3 年間に於いて環境関連の違反、訴訟等ありませんでした。

法規制等の名称	該当する要求事項	関連条例による規制	点検・測定頻度、実施時期	順守評価	
				証拠	判定
廃棄物処理法	・収集業者の許可証確認（写し保管）	分別排出	・1回/年	許可証提出	○
		鈴鹿営業所	・契約書/許可証処理の都度	契約書・許可証	○
	・収集運搬・処理業者との契約、許可証写しの	浜松営業所			
	保管	川越物流センター			
	・マニフェスト交付	新座物流センター			
	・マニフェストの報告	北陸支店			
		宇都宮営業所			
			6月報告提出		○
騒音・振動規制法	・特定施設の届出		新設時提出済		○
	空気圧縮機,せん断機などの特定施設 ・規制基準の順守				
リサイクル法	・認定業者への廃棄依頼		当該製品売却、廃棄時	請書保管	
フロン排出抑制法	・簡易点検（目視による点検）	東京都、埼玉県等	3、6、9、12月	点検票	○
消防法	消防用設備等の点検と報告		2年毎	点検結果報告書	○

[11] 代表者による全体評価と見直しの結果

新型コロナウイルス感染症のも5類へ移行し、今期はようやく営業活動にも制約がなくなり対面でのコミュニケーション機会も増えた一年でした。今期は良い形で予算が達成できたこと感謝しています。**web**が便利なツールであることは変わらないと思いますが、対面でのコミュニケーションも大きな効果があると考えています。**TPO**に応じた面談を実施し、業務の効率化も図りながら活動をお願いします。

エコアクションの目標数字は一部達成できない項目はありましたが、営業活動が活発になったことによって増加するのではないかと考えていたものの予想に反してクリアしており、皆さんがエコに対しても高い意識を持ちながら活動してくれていたことが伺えます。引き続き意識しながら積極的な活動をお願いします。

出力のエコ商品目標は少し残念な結果では有りますが、自動車業界のカーボンニュートラル実現への動きに対して新しい主力商品を発掘し提案するなど活発な動きも有ります。環境改善に対する商材は新たなビジネスチャンスに繋がると考えています。今後も取引先様の課題をしっかりと吸い上げて課題解決に努めていきましょう！